

RIS'FAX

発行人 藤田貴也
編集長 森下正章
<http://www.risfax.co.jp>

(株)医薬経済社

103-0023
東京都中央区日本橋本町
4-8-15 ネオカワイビル
TEL 03(5204)9070
FAX 03(5204)9073

中井薬剤管理官 地域包括ケアのDI、担い手は「薬局薬剤師」

厚生労働省保険局医療課の中井清人薬剤管理官は14日、保険薬局経営者連合会主催のフォーラムで講演し、国の薬価政策と薬剤師の関係について語った。新薬創出・適応外薬解消等促進加算で「特許切れまで新薬の評価を厚くし、切れた後発品に替わるメリハリを付けている」と指摘。製薬企業は「研究開発に集中的に投資して、これまで以上に情報提供の効率化が図られる」ようになり、病院内では病院薬剤師がDI（医薬品情報）を担当するが「地域包括ケアのなかで担うのは、薬局薬剤師しかいないと信じている」と持論を展開した。

その際、新薬の開発経緯、臨床試験の概要、臨床的位置付けなどが「最も公平に作成されたものはPMDA（医薬品医療機器総合機構）の審査レポート。これを読み込む練習が必要」と、集まった薬局関係者に訴えた。

16年度調剤報酬改定については、担当官として「針のむしろの状態」としつつ、具体的な話は避けた。また「きょうは青臭い話をする約束で来た」と述べ、立地依存からヒト（薬剤師）依存の薬局をめざして「どうやったら距離に勝てる薬局になれるのか」との問い合わせ掛けた。さらに「報酬は後からついてくるもの。そろそろ一喜一憂しないで薬局経営をすべき」と体質の転換を求めた。

薬経連・山村会長 かかりつけ指導料「数こなしに走れば形骸化する」

中小薬局の経営者団体「保険薬局経営者連合会」（薬経連）の山村真一会長は14日、都内で開いたフォーラム後の記者会見で、16年度調剤報酬改定についてコメントした。調剤基本料などの「バリエーションが増えて複雑化された。そなならざるを得なかつたことは理解するが、一過性のもので終わってほしい。やはり簡素化に向かうべき」と主張した。患者が薬剤師を「指名する」新点数の「かかりつけ薬剤師指導料」（70点）に関しては「薬局1軒1軒が質の高い業務を示すべきで、数こなしに走れば形骸化して、強烈なバッシングを受けるだろう」と指摘した。